

埼玉県自立支援協議会精神障害者地域支援体制整備部会(R6.2.16) および同部会ワーキンググループ(R6.1.22)の取組

令和5年度議題

- ・精神保健福祉法改正について
- ・法改正に伴う新規事業について(入院者訪問支援事業)
- ・第7期埼玉県障害者支援計画について



意見交換

精神保健福祉法改正について(市町村の相談支援体制の整備について)

- ・市町村精神保健相談支援体制の整備状況に凹凸感があるため、どういう体制を作っていくべきなのか、指針があると良いのではないか
- ・重層的支援体制について、単に総合相談窓口を作ることと誤認している市町村がある。重層的支援と精神保健との連携、連動性を考えていくべきではないか。
- ・新しい相談拠点を設けることなく既存の機関が機能や専門性を生かし、チームとして連携を強め支援体制を作っていくことが重要である。

埼玉県自立支援協議会精神障害者地域支援体制整備部会(R6.2.16) および同部会ワーキンググループ(R6.1.22)の取組

意見交換

精神保健福祉法改正について(入院患者の地域移行に向けた地域援助事業者の紹介)

- ・地域援助事業者の紹介について、県が市町村の窓口を明確化したことは非常に良かった。
- ・地域援助事業者が退院支援委員会への関与が求められることから相談支援専門員にも法改正の周知が重要。保健所で行っているケアシステム構築研修は引き続き行ってもらいたい。

法改正に伴う新規事業について(入院者訪問支援事業)

- ・地域移行支援や早期退院の事業は退院に向けた支援であって、入院者訪問支援事業は病院との間に入って話を聞くという支援であり、その役割の違いを明確に事業を進めていくべき。
- ・訪問支援員の養成については、権利擁護をしっかりと意識し、また病院との連携を理解していくことが重要である。

第7期埼玉県障害者支援計画について

- ・計画のうち精神障害にも対応した地域包括ケアシステム関係の指標等を確認・共有